~日本と異なる交通ルールの主なもの(カリフォルニア州)~

※以下は2013年5月現在の情報であり、随時変更される可能性もありますので、ご自身で最終的なご確認をお願い致します。

制限速度

制限速度は道によって異なりますが、カリフォルニア州の「基本速度法規」によると、提示されている制限速度に関わりなく、天候や道路状況の安全速度を超えて走ってはならないと定められています。フリーウェイの制限速度は、通常時速 65 マイル、郊外では 70 マイルが一般的です。

ストップサイン(四方向にストップサインがある場合)



全方向にストップサインがある交差点では、最初に一時停止した車から順に発進します。同時の場合は、右側の車が優先です。

赤信号での右折



交差点で右折する場合、"NO TURN ON RED" という標識がなければ、赤信号でも右折することができます。必ず停止線で完全停止をし、歩行者がいないかを確かめ、対向車線の左折車などの妨げにならないかを確かめてから進行しましょう。

カープール

従来は、同乗者がいる場合、カープール専用レーンを走行することができ、渋滞緩和が促進されていましたが、2012年11月より1年間、一人で運転していても、有料でカープールレーン(=エクスプレスレーン)を利用することができるプログラムが導入されることとなりました。これまで通り同乗者がいる場合は無料で使用可能ですが、いずれもトランスポンダー装置を予め購入・車内に取り付ける必要があります。原則として破線になっているエリアのみで出入りが可能で、内側が破線、外側が実線の二重線となっている箇所では、レーンから出ることだけが認められています。

詳細は以下リンクをご参照下さい。

https://www.metroexpresslanes.net/en/home/index.shtml

中央左折レーン

(2 WAY 道路の中央に設けられ、外側実線、内側破線で区切られた、左折を持つ車両のためのレーン)

道路の中央に2組の黄色い実線と破線に囲まれた斜線がある場所は、左折専用車線として、対向車線の車の流れが止まるまで待機をするスペースです。原則では 200 フィート(約 60 メートル)以内であれば、レーン内を走行することができます。なお、この車線は対向車線からも入ることができること、追い越しのための使用は禁じられているので注意しましょう。

消防車や救急車などが緊急走行している時

原則として、緊急車両が近づいてきている場合は、必ず道路右側に車を寄せ停止させます。また、対向車線を走行中の車も停止しなければなりません。法律上は、中央分離帯がある場合も例外ではないので、きちんと停止しましょう。

スクールバス

スクールバスが停車してストップサインを出している間(=児童らの乗降中)、後続車および対向車線から接近してきた車は停止し、児童らが乗降し終えるのを待つ必要があります。片側複数車線の大きな道路の場合、対向車線の車は停止しなくてもいいことになっていますが、児童が乗降する場所の多くは交通量の少ない細い道路なので、毎回きちんと停止するようにしておいた方がよいでしょう。ストップサインが完全に収められ、赤い点滅灯が消えるのを確認してから発進するようにしましょう。

道路中央にある横断歩道において

曲がり角ではなく、道路の中央に横断歩道がある場所がありますが、信号が黄色点滅している場合は徐行(15 マイル以下)、赤信号の場合は一時停止をし、歩行者が道路を渡りきるまでは発車をしないように注意して下さい。

歩行者の交通規則違反(Jay Walking)

赤信号での横断や横断歩道ではない場所での横断などについて、当地では、最大で 191 ドルの罰金を科せられることがよくありますので、留意して歩行しましょう。一般的に、人通りの多い場所やビジネス地区では特に取り締まりが厳しくなる場合があります。

色のついた縁石の意味

白の縁石: 人を乗せ降ろししたりする時などの短時間の駐車が可能です。

緑の縁石: 決められた時間のみの駐車が可能です。縁石に時間が書かれています。

黄色の縁石: 荷物や人の乗せ降ろしのみで、運転手はその場を離れてはいけません。

赤色の縁石: 停止、駐車をする事は禁止です。

青色の縁石:

障害者の方(専用の証明書やプラカードが必要)が止められるスペースです。(証明書をもらうには、DMV に正式な申請をし、認定されなければなりません。)また、期限切れ証明書の使用、偽証明書の作成や、本人以外の使用等の違反行為は免許停止に加え\$1000 近くの罰金と軽犯罪の罰が科せられ、6ヶ月の拘留となる場合があります。

参考ページ:

DMV 発行「California Driver Handbook 2013」